

■学校沿革の概要

明治	6年	9月	後閑小学として開校(第69番小学)
明治	20年	4月	山田村立養才小学校に合併
明治	21年	4月	養才小学校後閑分教場
明治	23年	4月	尋常養才小学校第一支校
明治	26年	9月	第二養才尋常小学校と改称
明治	34年	5月	山田村後閑字須賀1492番地に校舎を新築し同年9月に移転
明治	41年	4月	校舎一棟を増築、後閑尋常小学校と改称
明治	45年	5月	校舎一棟を増築
昭和	16年	4月	児島郡山田村立後閑国民学校と改称
昭和	22年	4月	児島郡山田村立後閑小学校と改称
昭和	28年	7月	玉野市立後閑小学校と改称
昭和	49年	3月	新校舎第一期工事完成
昭和	49年	5月	玉野市後閑1421番地(現在地)に移転
昭和	50年	3月	新校舎第二期工事完成
昭和	55年	3月	新校舎第三期工事完成
昭和	56年	3月	体育館落成
昭和	58年	7月	プール完成
平成	4年	9月	体育器具庫新設
平成	15年	4月	障害児学級新設
平成	16年	2月	特別教室棟完成
平成	22年	11月	屋内運動場耐震改修工事
平成	23年	8月	正門門扉新設
平成	23年	8月	岡山県学校保健推進学校表彰を受ける
平成	25年	1月	岡山県学校安全推進学校表彰を受ける
平成	25年	4月	「魅力ある授業づくり徹底事業」指定校 ～平成26年
平成	26年	4月	「実践的防災教育総合支援事業」山田中学校区指定
平成	26年	8月	校内LAN敷設・全教室PC設置
平成	26年	8月	緊急地震速報受信機の設置
平成	27年	3月	第39回山陽新聞桃太郎賞受賞
平成	27年	4月	「学校支援地域本部事業」開始
平成	27年	8月	本館第一期耐震工事
平成	27年	12月	「学校安全」で文部科学大臣表彰を受ける
平成	28年	7月	本館第二期耐震工事
平成	29年	8月	本館第三期耐震工事
令和	5年	11月	創立150周年記念学習発表会及び「1日だけの写真展」

■児童数

在籍児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	なかよし	計
男子	0	2	0	1	2	2	0	7
女子	0	1	0	1	0	1	3	6
計	0	3	0	2	2	3	3	13

令和7年4月1日

■地区別児童数・家庭数

地区	大藪	福浦	後閑	西の湯	沼	学区外	計
児童数	0	0	1	4	0	8	13
家庭数	0	0	1	4	0	4	9

令和7年4月1日

■学区の概要

本学区は、玉野市の東部に位置し、瀬戸内海に面した風光に恵まれた地である。気候は温暖で、みかんの栽培が盛んであり、漁業も一部で行われている。

地域では様々な活動や行事が活発に行われてきたが、近年では、地域に在住する児童生徒数の減少やコロナ禍の影響により、地区と学校が共催で行ってきた運動会を始め、キャンプなどがなくなってきた。そんな中、令和6年度は、地域の子どもたちのために、有志の方を中心に秋祭りの復活を果たすなど、地域のために活動する方々が多くおられる。

本学区は、平成7年から海岸沿いの造成地に雇用促進住宅や後閑ニュータウンの建設が進み、人口は増加したが、近年では、児童数の減少が進んでいる。

本校は明治6年創立という伝統校であり、令和5年度は創立150周年の年であった。150周年を記念して行われた学習発表会では、地域の方の獅子舞が披露されたり、学校に残された多くのアルバムの中から、児童が選んだ写真を展示したりした。写真展には、地域の方や卒業生、旧職員など所縁の方々が多く来校した。



美しい瀬戸内海



学区から見た金甲山

■年度別児童数・学級数の推移

年度	3	4	5	6	7	8	9
児童数	29	19	17	16	13	15	14
(新入生)	4	2	1	4	1	5	1
学級数	4	4	4	4	3	3	3

(令和7年 4月1日 ※R8年度以降は、予定数)

後閑小学校のめざす教育

3つの重点

豊かな心

自他のよさを認め合える
子どもの育成



異年齢集団活動の充実
(全校活動・鼓笛)



人権教育の推進



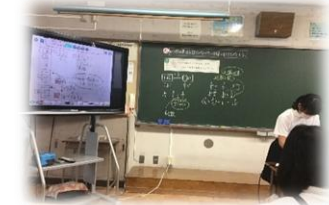
地域の特色(素材・人材)を
生かした創意ある教育活動の推進

確かな学力

主体的に学び、学びを
生かそうとする子どもの育成



主体的・対話的で深い学びの
授業作りの追求



ICTを活用した学びの推進



補充反復学習の推進

元気な体

自分の健康に関心を持ち、
自ら進んで運動に親しむ
子どもの育成



体力アップタイム



外遊びの奨励



健康教育の推進

各種連携の推進

【 小小連携 】



山田小との交流会

【 小中連携 】



山田中文化祭

【地域・保護者との連携】



地区の方も参加する運動会